

(第6条関係)

事業計画書

事業名	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業
団体名	浅間台笑劇研究部

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>松戸市総合計画基本構想で、全市民が生活に合わせた成長発達ができ、いつでも心のはりをもった豊かな人生を送れるように保健・医療・福祉の機会の拡充が謳われています。</p> <p>松戸市における要支援・要介護認定者総数は17,174名(2014年時点)であり、その方達の多くが市内の高齢者福祉施設で介護の提供を受けています。</p> <p>この施設での、質の高い介護等の提供等の体系的な対策と共に、こころの豊かさを増大させ、人生に潤いを与える精神的な働きかけの具現化も大きな課題です。</p>
事業の目的	<p>前述課題の具現化の為に、往々にして恒常化しやすい高齢者福祉施設利用の方々の日常生活の一時を、笑って頂き、楽しんで頂き、そして心にはりを持った豊かな生活を送る一助となるべく、当該施設で「笑劇」を演じることが事業の目的です。</p> <p>併せて、公演で福祉施設利用の方々の笑いと喜びを、私達部員が共有することも大きな目的です。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <ol style="list-style-type: none">① 古今東西のミュージカル・映画・歌舞伎等の名場面を研究する② その名場面を選択して、現代風に繋ぎ合わせて、脚本を制作する (1回/年のペースで制作)③ 部員でキャスト(配役 コーラス)とスタッフ(演出 台本 音楽 美術)をシェアの上、練習を行い、舞台上で演じられるまでにスキルを高める④ 並行して、必要な大道具・小道具・衣装を製作する⑤ 主に松戸市社協ボランティアセンターを通じて松戸市内の高齢者福祉施設に演劇のPRを行い、出演依頼を募る⑥ 希望ある高齢者福祉施設で、公演を行う ターゲット：1回/月コミットメント：1回/2カ月⑦ 松戸市民劇場に施設利用高齢者に多数来場いただき、そこで笑劇公演を行う (新企画)⑧ 公演ごとに反省会を行い、観客の満足度・反省点を明確にして次回公演にフィードバックする⑨ 高齢者福祉施設での公演の更なる充実の為に、笑劇以外のプログラム(出し物)を開発し、笑劇の前座として演じる (お笑いガガ・パルナート・詩吟等)

2 スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 定期総会	●											
② 新プログラム作成	●	●										
③ 道具・衣装作成	●	●										
④ 定例会 練習	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑤ 施設への公演 PR	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
⑥ 高齢者福祉施設公演	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
⑦ 松戸市民劇場公演							※	※	※	●		
⑧ 反省と活動計画												●

(凡例) ●：必ず実施 △：出来る限り実施 ※：集客活動

既存の事業からステップアップする部分
※ステップアップ助成のみ

施設利用高齢者に一度に数多く鑑賞頂くことと、部員の演技スキル向上の為に以下の内容で一般公演を行う

- ① 場所 松戸市市民劇場
- ② 時期 2020年1月（日付は抽選後）
- ③ 対象観客 施設利用高齢者
- ④ 内容 笑劇2作・お笑いガ・パルアート・ユース（応援出演）2時間

事業の目標

事業の目標	評価対象	数値目標 (H31年度)
① 高齢者福祉施設公演	公演回数	10回以上、ターゲット12回
	延べ観衆	200名以上、ターゲット400名
	公演後のアンケート	よかった70%以上
② 松戸市民劇場公演	公演回数	1回
	延べ観衆	100名以上
③ 新プログラムと脚本を作成する	脚本作成	1本
④ 練習を継続的に行う	練習回数	12回

今後の展望

1. 多くの福祉高齢者施設で、本笑劇の公演が定着する。
そして、多くの施設利用者が、定例化した公演を心待ち頂けるまでにする。
2. 笑劇プログラムを数多く所有して、演じられるようにする。
3. 今回の新企画の一般公演が定着する。
4. 笑劇以外の出し物・イベントを数多く開発する。
5. 高齢者福祉施設以外のボランティア団体での公演を行う。

(第6条関係)

事業の予算概要

【収入】 ※ 事業についての補足書類は添付できません。

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 42,000	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 30,000	施設よりの謝礼金 ¥5,000円×6回
	自己資金の合計額 (A)	¥ 72,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 372,000	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 50,000	平成31年度大小舞台道具製作費
		¥ 50,000	平成31年度舞台衣装代
		¥ 10,000	プリンターink代 台本、総会資料、案内書、他
		¥ 7,000	文具費 シナリオ制作用紙代 他
		¥ 5,500	平成31年度音楽DL代 250円×10曲 平成31年度音楽用CD代 300円×10枚
		¥ 12,000	バルーンアート配布バルーン代 1,000円×12回
	運搬費	¥ 36,000	施設までの大道具運搬費 3,000円×12回
	賃借料	¥ 12,000	定例会・練習の会場費 1,000円×12回
		¥ 42,000	アンプ内蔵スピーカー付き ワイヤレスマイク 3,500円×12回
		¥ 30,000	公演 市民劇場平日ホール・賃借料
	使用料	¥ 80,000	公演 照明 音響 操作スタッフ人件費含む
	印刷費	¥ 20,000	公演ポスター 150枚 パンフレット2,000枚
	通信費	¥ 7,500	アンケート 124円×10枚 公演ポスター、パンフレット施設に郵送
	対象経費の合計 (D)		¥ 362,000
その他経費			
	雑費	¥ 10,000	会員お茶代、公演ゲストお茶菓子代
	その他経費の合計 (E)	¥ 10,000	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 372,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。